

上郷水管橋（厚木市）

上郷水管橋は、相模川を横断する水道橋で、橋長 493m、径間長 49.4m、幅員 3.6m の 10 径間の鋼曲弦プラットトラス橋である。水管は内径 500mm の铸铁管で、相模川水管橋とも呼ばれる。海軍水道のうち中心的な役割を果たした半原系統の一部である。戦前最長の水管トラス橋で、2 本の柱の頂部がアーチ状につながれたラーメン橋脚に特徴がある。

半原系統は、明治 45 年（1912 年）に工事が着手され、大正 10 年（1921 年）に完成した。相模川の支流である中津川から 1 日 10,000m³ の水を取り入れて、愛川町半原から横須賀市逸見まで約 53km を 70m の高低差を利用して自然流下で通水させた。

